

都市ガス火災の消火実験

第一研究室

目 的

ガス導管が折損、漏洩ガスに着火炎上した場合、ガスによる人畜の中毒被害を考慮した適切な消火方法を検討し、あわせてガスの流量、圧力、放射熱およびガスの分布状況などを測定し、これからのガス火災およびガス漏洩事故対策の資料とする。

場 所

東京都練馬区谷原町2-1387

東京ガス株式会社 練馬整圧所構内

日 時

昭和37年10月11日 A.M. 9.00

実験参加団体

東京ガス株式会社

実験項目および測定項目

気象状況

燃焼状況

消火方法

鎮火状況

消火所要時間

消火剤、消火資器材

消火後の掘抗状況

流 量

ガバナー開度

ガス温度

噴出口附近ガス圧力

ふく射熱

ガス濃度の分布

表面温度

着火状況

詳 細

単独報告書にて、報告、保管してあるため省略する。

編 集 後 記

当研究所設立以来、約2年半の研究結果をまとめ、所報1号として、19項目の発表を行なう予定であったが、各種の事情により、今回は12項目に縮少せざるを得なかった。しかし、割愛したものについては、順次、号を追って発表した

いと考えているので、御了承いただきたい。なお、編集の不手際から発行がおくれ、また、図面、グラフ等見にくい点多々あると思われるが、御判読願いたい。